

コミュニケーションサイエンスアカデミア・ふくしまサイエンスコミュニケーター養成講座 SDGsや福島イノベーション・コースト構想について学ぼう!



交流棟「コミュニケーション福島」にて開講している小中学生向けサイエンスクラブ「コミュニケーションサイエンスアカデミア」と高校生以上向け人材育成講座「ふくしまサイエンスコミュニケーター養成講座」。8月に開講してから今まで、全12回の講座のうち第8回目までを開催したところです。両講座とも3月に参加者それぞれが学んだ成果を発表する「成果発表会」を開催します。残りの講座で更に学びを深めながら、発表の準備を行っていきます。

さて、今年度は最近よく耳にする「SDGs」や浜通りで行われている国家プロジェクト「福島イノベーション・コースト構想」について学んでいただくため、外部講師をお呼びして講演会を開講しました。参加者の皆さんからは、「あまり知ることのなかったSDGsをいろいろ知れてよかったです。」「基本的なことから、踏み込んだ内容まで聞いてみたい。」などの感想をいただきました。



講演会の様子(左:SDGs 右:福島イノベーション・コースト構想)

ふくしまナラティブ・スコラ2020

東日本大震災から10年目を迎えるふくしま。県内から集まった高校生が、今のふくしまや未来への想いを県内外に力強く発信するため、7月から始まった「ふくしまナラティブ・スコラ2020」。

第4回～第9回のワークショップでは、集中講義としてヴォイストレーニングやPCスキルアップ講習を3日間にわたり受講した上で、自分自身が伝えたい「念い(おもい)」をプレゼンテーションするための準備を行いました。一人ひとりが〈私〉や〈ふくしま〉の過去・現在・未来について向き合い、東日本大震災からこれまでに経験したこと、学んだこと、悩んだことに触れながら「私だけの物語」を作り上げていきました。

11月29日のワークショップ最終回では、発表の舞台となるけんしん郡山文化センターにてひとりずつリハーサルを行いました。半年間をかけて学んだプレゼンテーションスキルと作り上げた「私だけの物語」。一人ひとり実際にステージに上がってプレゼンテーションを行い、講師の前田謙利さんから本番の発表に向けたアドバイスをいただきました。

「ふくしまナラティブ・スコラ2020」に参加して…………… 松崎 甫乃花さん(磐城桜が丘高校)



「とにかく楽しかった。学校ではプレゼンテーションの勉強をしたことがなかったが、(ナラティブ・スコラで)学んでいくうちにプレゼンテーションが面白いと感じるようになった。また、講師の前田謙利さんや他の参加者の高校生の話を聞くうちに、自分の価値観が変わり、成長できることを実感した。福島について調べ、地元の復興について考えたことは、自分の将来を決める上でいい経験になった。」



ヴォイストレーニングの様子



リハーサルの様子

～コミュニケーションミライラボを開催しました！～

環境と科学そしてミライについて考えるイベント「コミュニケーションミライラボ」を10/18(日)に開催しました！

らんま先生のエコサイエンス教室

世界中でパフォーマンスを繰り広げる、らんま先生がコミュニケーション福島でエコサイエンス教室を実施しました！

ユニークなトークを交えながら、水の実験や牛乳パックを利用したマジック、世界一のeco空気砲などを体験することができ、楽しいだけでなく、水環境の大切さや、リサイクル等について意識を高めるきっかけになりました！



らんま先生のユニークなトーク

らんま先生×本田隆行さん

サイエンストーク「ぼくらの未来のつくりかた」

環境問題や科学を伝えるスペシャリストであるらんま先生や本田隆行さんによるサイエンストークを実施しました。

来場した参加者(小・中学生)の、「科学と環境の未来」「夢の追いかけかた」に関する質問に対し、貴重なアドバイスをいただきました！

今回の経験が、参加した子供たちの未来を創る糧になってほしいです！



サイエンストークの様子

ドローンプログラミング教室



プログラミングに関する座学や、実際に自分自身でプログラミング操作を体験し、ドローンを操縦する体験教室を実施しました。

農業用ドローン展示トイドローン操縦体験



屋外テントで、農業用ドローンの展示やトイドローンの操縦体験を行いました。

みんなですすめるエコ活動実践教室



環境負荷の少ない材料(オーガニックコットン)を使った、エコバッグづくりを実施するとともに、環境負荷の少ない生活について、みんなで考えました。

アシストスーツ体験教室



介護現場で使用しているアシストスーツを着用し、重い物を持ち上げる体験をしました。

研究紹介

環境創造センターでは、福島県の環境回復・創造に向けて、「放射線計測」、「除染・廃棄物」、「環境動態」、「環境創造」の4つの部門に分かれて、日々研究を行っています。
今回は除染・廃棄物部門(除染グループ)の研究について紹介します。

除染後の施設等の放射線に対する不安

台風通過後の放射線影響に対する不安

福島県内の状況

- 市町村除染地域での面的除染の終了
- 仮置場での除去土壤等保管の継続
- 保管が終了した仮置場の原状回復の実施

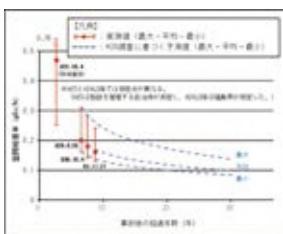
保管容器等の耐久性に対する不安

原状回復実施時の技術的課題への対策

除染に関する研究

除染効果の持続を確認

除染が行われた施設の線量調査



- 除染効果が持続していることを確認しました。
- 調査結果は、対象自治体の広報誌に掲載されました。

台風による影響を確認

被災した河川公園の線量調査



- 令和元年東日本台風による河川氾濫後の河川公園で空間線量率の上昇がないことを確認しました。

仮置場に関する研究

仮置場資材の耐久性を確認

実際の保管容器を対象に試験



- 6年遮光保管された保管容器、4年使用された上部シートが十分な強度を保持していることを確認しました。

仮置場原状回復時の課題を確認

土壤の硬さを測定



- 仮置場跡地の土壤が締め固まっている可能性や、畑に戻す際に堆肥を加えると作物の生育が改善する可能性を確認しました。

現在の主な取組

仮置場跡地を畑に戻す際の技術的課題を把握するため、実際の仮置場跡地を対象に現地試験を行っています。

仮置場跡地



畑に戻す現地工事



福島県環境創造センター

福島県の環境回復・創造に向けた「モニタリング」、「調査研究」、「情報収集・発信」、「教育・研修・交流」の業務を行っています。

環境創造センターホームページより、県内市町村の空間線量、大気環境等のモニタリング情報を御覧いただけます。



アクセスMAP



福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」入場無料

TEL.0247-61-5721 FAX.0247-61-5727

○開館時間 9:00~17:00

○休館日 毎週月曜(月曜が祝日の場合、翌平日)・12月29日~1月3日

ホームページ <https://com-fukushima.jp/>



車をご利用の場合

磐越自動車道船引三春ICより約5分

電車をご利用の場合

JR磐越東線三春駅より車で約12分

三春町営バスをご利用の場合 三春駅～環境創造センター(コミュタン福島)へ

コミュタン福島をご利用の方はバス料金無料 年末年始(12月31日～1月3日)を除き毎日(1日4便)運行

田村西部工業団地内、ドームが目印です。